



『千葉教育』の「トリセツ」

千葉市立千葉高等学校教頭 みす ゆうた
 籾 雄太



県内の多くの教育機関で読まれている千葉教育について、今後の読者のための千葉教育の「トリセツ」になるよう、私なりに紹介してみる。

○「現代の教育事情」・「情報アラカルト」

各業務の中心となる課で作成されているので、内容が詳しく、かつコンパクトにまとめられている。国や県での教育行政の施策を知るために欠かせない記事である。

○「学校自慢」・「私の実践」

さまざまな学校の取組を知る機会となり、勤務校で取り入れられる取組を探しながら読んでもらいたい記事である。以前一緒に仕事させていただいた方の記事も多く、個人的には近況報告のように懐かしく読んでいる。

○バックナンバー

県総セのWebページには、過去の冊子の電子版（PDF形式）が保存されているので、過去の千葉教育も調べられる。各号の「シリーズ現代の教育事情」のテーマが一覧になっており、知りたい記事や使いたい記事もすぐに調べることができる。

以上、簡単な「トリセツ」だが、これからも千葉教育が広く活用される一助となれば幸いである。



中堅教諭等資質向上研修を受講して

南房総市立嶺南中学校養護教諭 いなば むつみ
 稲葉 睦



私は、昨年度は統合1年目の小学校に勤務し、新しい環境で生活する児童を見守ってきた。今年度は初めて中学校に勤務し、戸惑うことも多いが、思春期を迎えた生徒と接する中で新しい学びがたくさんある。

私はこの研修の中で教育相談の内容が印象に残っている。講義や演習から今まで対応してきたことが整理され課題が明確になり、カウンセリングや分析、組織的な対応に活かすことができた。また、他校の取組を知ることができ、それぞれが日々奮闘している話からも刺激をもらった。研修で学んだことや資料を見直して、これからも実践に活かしていきたいと思う。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5回の研修のうち県総合教育センターを会場にした研修は2回の実施となったが、動画配信や資料の配付などをしていただいた。見識を深めるとともに、同期生と悩んでいることを共有したことで養護教諭同士のつながりの大切さも改めて実感し、とても有意義な時間となった。

養護教諭は学校に一人の専門職として、知識の更新や技術の向上に自ら努めることは重要な職務の一つである。子供たちの幸せを願い生涯にわたり健康で心豊かな生活が送れるよう、教職員や関係機関と連携して指導・支援に当たっていく所存である。